

6. 事業の効果を把握するための手法及び効果の見込み

事業の期待される成果 秋田空港および大館能代空港、フェリー秋田航路の利用者の増加

指標	指標名	秋田空港の利用者数						指標の種類	
	指標式	秋田空港の利用者数						成果指標 業績指標	
	年度別の目標値（見込まれる成果による指標）								
	指標	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度	07年度	最終年度
	目標a			918,000	1,312,000	1,350,000			1350000
	実績b		250,000	データ等の出典					
	東北 全国	秋田空港管理事務所発表の空港利用状況							

把握する時期 当該年度中 月 翌年度 04月 翌々年度 月

指標	指標名	大館能代空港の利用者数						指標の種類	
	指標式	大館能代空港の利用者数（3便運航における目標数）						成果指標 業績指標	
	年度別の目標値（見込まれる成果による指標）								
	指標	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度	07年度	最終年度
	目標a			148,000	219,000	226,000			226000
	実績b		25,000	データ等の出典					
	東北 全国	大館能代空港管理事務所発表の空港利用状況							

把握する時期 当該年度中 月 翌年度 04月 翌々年度 月

指標を設定することができない場合の効果の把握方法
 指標を設定することが出来ない理由

見込まれる効果及び具体的な把握方法(データの出典含む)

事業の必要性

現状の課題及び施策目的に照らした事業の必要性
 アフターコロナにおいては密を避けた旅行やワーケーション等の社会変化が見込まれており、その変化に対応した航空路線やフェリーの利用促進策を展開し、コロナ禍によって深刻な影響を受けた航空路線等の利用回復を図る必要がある。

住民ニーズに照らした事業の必要性
 県民意識調査によれば、航空や鉄道等の交通ネットワークの整備に対するニーズは高く本事業は妥当である。

事業の県関与の必要性
 法令・条例上の義務 内部管理事務 県でなければ実施できないもの
 民間・市町村で実施可能であるが、県が関与する必要性が認められるもの

航空路線は、県民の移動を支える社会基盤であるのみならず、県外からの誘客による域内消費の創出や交流人口の増加など、県全体にとって社会・経済的に不可欠であることから、県が積極的に関与する必要がある。

政策評価委員会意見	重点事業の適合及び指標・目標値の適合性判定

重点事業 その他